

学校園研究会 研修資料

2017. 8. 10
於 京都府立植物園

1 身近な樹木街路樹

街路樹ではイチョウやケヤキのように、幹がはっきりしていて、背が高くなる木（樹高3m以上）を高木と呼び、ツツジやクチナシのように、生長しても背が高くない木（樹高3m以下）を低木と呼んで区別する。

高木の主なものには、イチョウ（約2万本）、トウカエデ（約8千本）、スズカケノキ（約4千5百本）、サクラ（約4千本）、ケヤキ（約3千5百本）、モミジバフウ（約1千本）等で、低木では、ヒラドツツジ、クチナシ、シャリンバイ、アベリア、ヒペリカム等がある。

・樹種による特徴

イチョウ：

中国原産の落葉樹、古くから社寺の境内などに植えられ、秋の紅葉が美しく親しまれてきた。樹形が円錐形に整い、町並みに統一美をもたらすため、主にビスタ（見通しの景観）を強調する路線に植栽されている。

主な路線：堀川通、河原町通、丸太町通、東大路通他

トウカエデ：

中国原産の落葉樹であり、18世紀初期に日本に入ってきた。東山区の東福寺の通天橋付近に植えられたことから、通天楓とも呼ばれている。

主な路線：北大路通、西大路通、大宮通、丹波橋通他

ケヤキ：

日本産の落葉樹であり、大径木として多用されている。幹は直立して、枝はホウキ状に広がり樹形が美しく、秋には鮮やかに紅葉する。

主な路線：御池通、白川通、釜座通、新林本通他

プラタナス（スズカケノキ）：

日本では街路樹として、モミジバスズカケノキが多く使われる。モミジバスズカケノキは、スズカケノキとアメリカスズカケノキとの雑種。

植えられてから概ね50年以上が経過し老朽化が進み、また近年大発生している特有の虫害「プラタナスグンバイ」への対応からイチョウ、トウカエデへの植え替えが進んでいる。平成28年度には外環状線においてイチョウへ植替え。

√ サクラ：

ソメイヨシノ、ヤマザクラ、サトザクラ等日本の春を代表する樹木。

サクラ路線：白川北通、木屋町通、白川疏水通、琵琶湖疏水沿い（冷泉通、疏水浜通、仁王門通）他。伏見区の油小路通には約300本の陽光（ヨウコウ）が植えられている。

ユリノキ：

北アメリカ中部原産の落葉樹。日本へは明治時代初期に渡来した。

烏丸通については、「ユリノキ並木再生事業」と題して、歩道上に植栽されているスズカケ

ノキをユリノキに植え替えていく計画がある。

モミジバフウ：

マンサク科の落葉高木、北アメリカ原産で、樹皮は厚いコルク層が発達し深い掌状の葉は秋に深紅色に紅葉

桂坂周回道路、紫明通、押小路通（堀川通～千本通）、冷泉通（疏水浜通～岡崎通）

クスノキ：

クスノキは成長が早く、球形の大きな樹形となり、交差点などのシンボリックな樹木として植えられている

竹の里本通、四條河原町交差点、堀川御池交差点、西大路通（八条上る）など

サルスベリ

中国南部原産の落葉樹。日本には江戸時代に渡来した。

サルスベリは、キョウチクトウとともに夏を代表する花で道路に彩りを添える存在となっている。

主な路線：北大路通他

ヒラドツツジ：

暑さや大気汚染に比較的強いので、歩道と車道間の植樹帯など連続したところに植栽される。

主な路線：河原町通、北大路通、美福通他

シャリンバイ：

乾燥や大気汚染に強いことから歩道や中央分離帯に植栽される。

主な路線：川端通、御池通、北大路通他

ヒペリカム類：

開花時期が長いことから公園や街路樹に植栽されている。

主な路線：御池通、堀川通、中立売通他

2 家庭・学校・公園で植えられている樹木

○ 陽樹と陰樹

陰樹とは、光に対する要求性が比較的低い樹木のこと、対立する語として陽樹がある。陽樹に比べて発芽成長に光が少なくてもよいものの、土壌や湿度はより多く求めるものが多いので、開けた場所に侵入するのは難しい。そのため、陽樹林が成立した後にそこに侵入することになる。

○ 主な庭木の特性

【中高木】

区分	樹種	陰陽	乾湿	萌芽	生長	耐火	備考
常緑針葉樹	アカマツ	極陽	耐乾		○	×	
	イヌマキ	陰	耐湿	強	△	△	
	カイズカイブキ	陽	好湿		○	◎	
	クロマツ	極陽	耐乾		○	×	
	ゴヨウマツ		乾		×	×	
	スギ	陽	好湿	強	◎	×	
常緑広葉樹	アラカシ	陰	湿	強	○	○	
	イヌツゲ	陰	湿		○	◎	
	ウバメガシ	陽	耐乾	強	×	△	
	カナメモチ	陽	好湿	強	○	○	
	キンモクセイ		湿	強	△	○	
	クロガネモチ	陽	好湿	強	◎	○	
	ゲッケイジュ	陽		強	○	△	
	サザンカ	陰	好湿	強	△	◎	○
	サンゴジュ	陰		強	○	◎	
	ツバキ	陰		強	△		
	シラカシ	陰		強	○	◎	
	ヒイラギ	極陰	耐湿	強	△	◎	
	モチノキ	陰	耐湿	強	△	◎	
	モッコク	陰		強	△	◎	
	ヤマモモ	陰	好湿	強	△	○	
	落葉広葉樹	イロハモミジ	陰	湿	強		
ウメ		陽	好湿	強	△		
ケヤキ		陽	好湿		○	△	
サクラ		陽		強	○		
サルスベリ		陽	好湿		○	◎	
ハナミズキ					△	×	

【低木類】

区分	樹種	陰陽	乾湿	萌芽	生長	耐火	備考
常緑針葉樹	タマイブキ	陽	乾	強	×		
	ハイビヤクシン	陽	乾		×		
常緑広葉樹	アオキ	極陰	好湿		○	◎	
	オオムラサキツツ	陽			○		
	サツキツツジ	陽		強			
	シャクナゲ	陰			×		
	センリョウ	陰	耐湿		△		
	ナンテン	陰	好湿	強	△		
	ヒイラギナンテン	極陰	好湿		△		
	マサキ	陰		強	◎	○	
	マンリョウ	陰	好湿		△		
	ヤツデ	極陰	好湿	強	○	○	
落葉広葉樹	アジサイ	陰	好湿		○		
	ウメモドキ	陽	好湿	強	×		
	ドウダンツツジ	陽	耐湿	強	△		
	ボケ	陽			○		

○ 樹木の剪定

花芽形成時期による剪定の適期

花芽形成時期	剪定の適期	主な樹木
春に伸びた枝に花芽を付け、その年の内に開花するもの	秋から翌春の萌芽前まで	サルスベリ、キンモクセイ、類等
春～初夏に開花しその後萌出する新しい枝に夏以降花芽作る	花の終わった直後	サクラ、ツバキ、ハナミズキ、ツツジ、アジサイ類等

簡単な剪定時期の見極め

落葉樹は冬に、常緑樹は新芽が伸びきって充実した頃なら無難